

犯罪被害者週間「県民の集い」の取組について

犯罪被害者支援を考える県民の集い

毎年11月25日から12月1日までの一週間は「犯罪被害者週間」として、犯罪被害者等が置かれている状況や、犯罪被害者等の名譽または生活の平穩への配慮の重要性等について、国民の理解を深めることを目的に全国で啓発事業が取り組まれています。

令和7年度の県内では、11月1日から12月1日までを「犯罪被害者等支援広報啓発強化期間」として「わたしにもできる支援がここにある」をテーマに沖縄県、沖縄県警察、(公社)沖縄被害者支援ゆいセンターの三者主催、名護市共催による「犯罪被害者週間・県民の集い」を11月26日(水)、名護市民会館で開催しました。

第一部の講演会は、2011年3月、熊本県内のスーパーで行方不明となった娘(当時3歳)を殺害された御遺族、清水誠一郎氏を招いて行いました。

第二部のアトラクションは、ミニコンサートとして、沖縄県警察音楽隊と名護高等学校吹奏楽部による演奏を実施しました。

ロビーでは、犯罪被害者支援のパネルとメッセージを展示、更に、犯罪被害者等支援シンボルマークの「ギョッとちゃん」を12個展示して広報啓発活動に努めました。

イベント内容 参加者：約370名

- 主催者代表あいさつ …………… 沖縄県警察警務部長
- 名護市長あいさつ …………… 名護市長
- 県の取組状況説明 …………… 沖縄県生活安全安心課
- 講演
犯罪被害者御遺族
演題「心(娘)と共に生きる」… 清水 誠一郎 氏
～ 犯罪被害者として歩む覚悟 ～
- ミニコンサート
沖縄県警察音楽隊と名護高等学校吹奏楽部による演奏

参加者からは、

- ◆今回の集いに参加できて本当に良かった。
- ◆被害者の親としての心情、その気持ちを超越し、加害者となった人達を更生させた
いとこの思いや使命に驚き感動しました。
- ◆言葉はいらないですね、寄添うだけで、私もそのようにしてあげたいと思いました。
- ◆もっと多くの皆様に「心と共に生きる」を聞いてほしい。
などの感想がありました。



犯罪被害者支援パネル展及び 生命のメッセージ展の開催

令和7年度後半は、読谷村、那覇市、石垣市、中城村、県庁、名護市、うるま市、浦添市の8か所で開催しました。その内、石垣市、中城村、県庁、浦添市の4か所ではメッセージも展示して、来場者の関心を集めていました。



石垣市(10/21～30) メッセージも展示



県庁(11/10～14)



名護市(11/21～28) メッセージも展示



浦添市(12/10～16)